

埼玉県のマスコット
コバトン



「彩の国」さいたま
埼玉県

子育ての目安「3つのめばえ」



子育ての目安「3つのめばえ」 説明資料

活用マニュアル

1 説明資料の特徴

<各園、学校に合わせて使いやすく>

- ◇ 本活用マニュアルに、説明資料の効果的な使い方を示しました。
- ◇ 資料の構成は、各学校や園の実情によって組み替えて使えます。
- ◇ ナレーション付きの自動再生です。所要時間は10分程度です。
プレゼンテーションソフトを利用しています。
- ◇ 目的に応じて、ナレーションなしの手動再生版も選択できます。

<保護者の興味・関心を引く内容に>


- ◇ まず、保護者の方たちの興味・関心が高い、具体的な子どもへのかかわり方を示しています。
- ◇ 次に、3つのめばえの内容を説明しています。3つのめばえで育つ力も示しています。
- ◇ 保護者の興味関心を、「3つのめばえ」に沿った子どもへのかかわり方へ向けられるようにしています。

<いつでも、どこで、だれでも同じ説明が可能に>

- ◇ 園や小学校の教職員の皆様の負担にならず、「3つのめばえ」について、いつでも、どこでも、だれでも、同様の説明をすることができます。
- ◇ 幼稚園・保育所・認定こども園では
 - ・説明会で、子供へのかかわり方の確認。
 - ・保護者会で、小学校入学までに子供に身につけさせたいことの確認。などに
- ◇ 小学校では、
 - ・就学時検診での保護者説明会で、小学校入学までに子供に身につけてほしいことの確認。
 - ・入学説明会で、入学前の子供へのかかわり方の再確認。
 - ・懇談会で、入学後の子供へのかかわり方の確認。などに活用できます。
- ◇ 家庭と幼稚園・保育所・認定こども園、小学校が、共通の目安のもとに子供の育ちを支えられるように、子育ての目安「3つのめばえ」を、家庭へしっかり説明していきましょう。

3 説明資料の使い方の例

1ページ




子供の教育は、
家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花
が咲き、地域の教えで実がなります。
子供を大きく育て、家庭の教育が大

子育ての目安「3つのめばえ」
—小学校入学まで大切に育ててほしい—

埼玉県教育委員会

子育ての目安「3つのめばえ」
家庭向けリーフレットを配布し
て、説明するとよいでしょう。

2ページ



子供の育ちは一人一人異なります。
特に、幼児期は発達の個人差が大きい
時期と言われています。


お子さんの育ちを長い目で見つめなが
ら、かかわり方を考えていきましょう。

子供の育ちは一人一人異なります。
特に、幼児期の子供は発達の個人差が
大きい時期と言われています。

子供の育ちを長い目で見つめながら、子
供へのかかわり方を考えて、一人
一人のもつよさを育てていきましょう。

子供の育ちは一人一人違うこと、長
い目で子供の良さを育てること、を
保護者に理解してもらえるように説
明します。

3ページ



生活面で「こんな場面は避けませんか…」

子供の生活例


- 「あんなに楽しんで遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」

親の生活例

- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」

では、どのように子供にかかわっていけ
ばよいのでしょうか…
「生活」の面で、
子供が、片付けを面倒に思ったり、人任
せにしたりしたときなどには、
親としては、「おもちゃが多すぎるのかし
ら…」とか、「なんで自分でできないのか
しら…」と心配になります。
このようなときは、どうかかわっていけ
ばよいでしょうか…

4ページ



生活面で「こんな場面は避けませんか…」

子供の生活例

- 「あんなに楽しんで遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」

子供の中心

- 「あんなに楽しんで遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」
- 「あんなに楽しそうに遊んでいる」「あんなに楽しそうに遊んでいる」

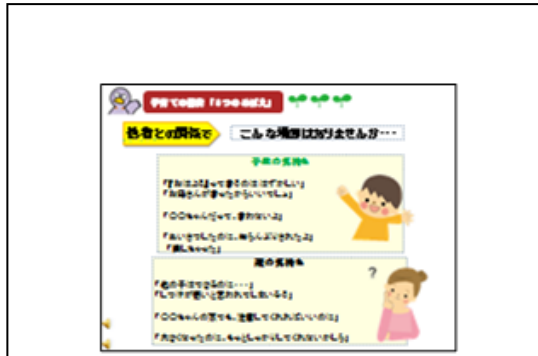
「物を大切にする」気持ちの子供にめば
えるようにするためには、
進んで片付けをすることが大切です。

片付けを通して「物を大切にする」ことが
子供にめばえるようにするために、
「おもちゃを使って遊んで、とても楽しかっ
たよね」
「しまった場所がわかっていれば、使いた
い時すぐに返すよね」と
お子さんと一緒に片付けたあとの清々し
さを体験してみましょう。

ここでスライドを止め、
ここに示した他にも、どのようなかか
わり方があるか、保護者に考えても
らうとよいでしょう。

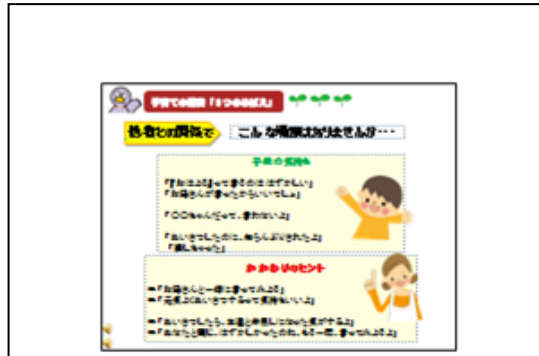
ここから、具体的な場面での、子供への
かかわり方について説明します。
まずは、「生活」面について説明します。

ここでスライドを止め、
ここに示した他にも、どのようなかか
わり方があるか、保護者に考えても
らうとよいでしょう。



「他者との関係」では、子供があいさつを取すかさがったり、相手の反応を気にして挨拶ができなかったりしたときなどには、親としては、「他の子はできるのに…」とか、「もっとしっかりしてくれないかしら…」と心配になります。このようなときは、どうかかわっていいかよいでしょうか…

2つ目の具体的な場面は、「他者との関係」について取り上げて説明します。



気持ちを「言葉で伝え合う」ことができるようになるためには、あいさつを交わすことが大切です。

あいさつを通して「言葉で伝え合う」ことが子供にめばえるようにするために、「お母さんと一緒に言ってみよう」、「あいさつしたら、友達と仲良しになった気がするよ」と、自分からあいさつができるようにしていきましょう。

ここでもスライドを止め、ここに示した他にも、どのようなかわり方があるか、保護者に考えてもらおうとよいでしょう。



「興味・関心」の面については、例えば、子供が、本の読み聞かせをせがんできたときに、大人は「あとでね」とか「自分で読んでみたら」と、つい言ってしまいます。そんな時、子供は、「字が読めるのを見てほしいのに…」、「お母さんと一緒に読むのが楽しいの…」と、興味をそがれてしまいます。では、どのようにかわればよいでしょうか…。

3つ目の具体的な場面は、「興味・関心」について取り上げて説明します。



子供の「文字などの感覚を豊かにする」ためには、本を読むことへの興味をもたせることが大切です。

文字などへの豊かな感覚がめばえるように、「今日は、お父さんが読んであげるよ」、「この前一緒に読んだ冒険のお話、とっても楽しかったね」と、文字などに触れる楽しさを味わわせるようにしていきましょう。

ここでもスライドを止め、ここに示した他にも、どのようなかわり方があるか、保護者に考えてもらおうとよいでしょう。



このような、大人と子供のかかわりを通して、子供たちに身につけてほしいことをまとめたものが、『子育ての目安「3つのめばえ」』です。
これは、子供たちに小学校入学までに身につけてほしい内容を、子育ての目安としてまとめたものです。

ここからは、子育ての目安「3つのめばえ」について説明します。
小学校入学までに身につけてほしい内容を子育ての目安としてまとめたものであることを、保護者に理解してもらえるように説明します。



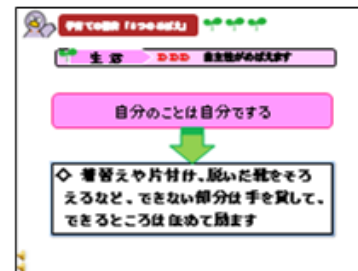
幼児期の子供は、生活が広がり、友達とのつながりができ、興味・関心の対象も広がってきます。
そこで、子育ての目安「3つのめばえ」は、「生活」と、友達などとの「他者との関係」と、「興味・関心」の3つの柱をたて、それぞれに3つの内容を示しました。

子育ての目安「3つのめばえ」は、「生活」「他者との関係」「興味・関心」の3つの柱でまとめられていることを説明します。



「3つのめばえ」の内容を、子供に芽生えさせるための、子供へのかかわり方です。
。家族との温かいつながりが土台となります。

子供の育ちを支える基盤は、家庭であり、家庭でのかかわりが大切であることを説明します。



例えば、生活面で、子供に「自分のことは自分でする」ことをめばえさせるためには、
「できない部分は手を貸して、できるところはほめて励ます」ことを通して、子供にかかわっていきましょう。

「生活」から、具体例を1つあげて説明しています。「生活」の他の2項目も、同様に説明してもよいでしょう。

また、他者との関係では、例えば、子供が「返事やあいさつをする」ために、「まわりの大人があいさつの手本となる」ことを通して、子供にかかわっていきましょう。

「他者との関係」からも、具体例を1つあげて説明しています。他の2項目も、同様に説明してもよいでしょう。

そして、興味・関心の面では、例えば、「いろいろなものへの興味・関心を高める」ために、「子供の『なぜ？』と一緒に考える」ことを通して、子供にかかわっていきましょう。子どもを認め、家族の温かいつながりを深める中で、ぜひ、心がけてみてください。

「興味・関心」からも、具体例を1つあげて説明しています。他の2項目も、同様に説明してもよいでしょう。

この『子育ての目安「3つのめばえ」』は、「生きる力」の基礎となり、小学校に入学してからの教育につながるものです。そして、小学校や中学校で身につけさせたい「学力」「規律ある態度」「体力」にもつながっていきます。

子供にかかわるすべての人が、『子育ての目安「3つのめばえ」』を通して、幼児期の子供について共通理解をすることによって、子供を共に育てていくことを目指しています。

子育ての目安「3つのめばえ」に示された内容を、身につけることによって、小学校の生活へスムーズに入っていけることを説明します。

最後に、家庭と幼稚園、保育所、認定こども園、小学校が手を取り合い、子供の育ちを支えいくことを伝えます。

そのための、園や学校の方針などを、説明してもよいでしょう。

子供にかかわるすべての大人が、共通の目安のもとに子どもの育ちを支えられるように、子育ての目安「3つのめばえ」を、保護者に理解してもらえるようにしましょう。